



日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.10.28 No. 4682

貨物合理化攻撃を闘いぬけ

千葉機関区支部第二回定期大会(10/25)

千葉機関区支部第二回定期大会が、十月二十五日午後一時から千葉機関区講習室にて三十名の組合員の参加のもとに開催された。千葉機関区支部は、九七年三月ダイヤ改の貨物会社の基地統廃合攻撃のなかでストライキを闘う中から、新小岩・佐倉両支部組合員の結集で誕生した。以来七カ月間新小岩基地整備をはじめとする貨物合理化攻撃など諸闘争を闘いぬいてきた。



基地移転が行なわれたが、さまざまな問題が発生している。この解決にむけて、今日の大会でも忌憚のない意見をお願いしたい」と挨拶を行なった。

続いて来賓として本田田中書記長が挨拶を行い、「この一年大きな節目がいくつあった。28名の公労法解雇の撤回問題は最善の形で決着した。貨物の基地統廃合の問題は、佐倉機関区廃止を阻止できなかったが、新

フレイト21と対決する出発点をつくることのできた。さらに水野、山口両氏の60才退職を迎え、動労千葉の今後の道筋をどうとつていくのか等の節目を今迎えている。貨物問題では、基本問題懇談会の答申が出たが、新フレイト21がうまくいっていない。さらに、モーターシフトが浮上して京葉線乗り入れが具体化し、国策になろうとしている。もう一つの国策が新ガイドラインによる輸送労働者の動員の問題だ。貨物が全国一社なのはこのためといってもよい。これからが大きな勝負になる。日貨労・JR

総連解体に立ち上がる。」「労金千葉南支店からの祝電の披露のち、執行部より経過報告、方針案・予算案が提案されたのち、質疑に入った。

「出された意見」

●昇進試験について、日貨労とわが組合の合格率はどうなっているか、法廷闘争等取り組むか

●割引券の貨物会社の扱いは?

●分割・民営化十年たったが、中曽根、後藤田の発言などみると、新ガイドラインのなかで、労働組合が骨抜きにされてきているのでは。十一・九は動労千葉がよびかけているし年休も含めて取り組もう

●京葉線に予算がついたが、詳しくはどうか。割引券がなくなるなら、代わりの福利厚生制度をどうするのか。

●貨物協議会の取り組みのなかで交渉の前進を見て取れるが、支部の体制の強化を。全員が支部、分科会のバックアップをしてほしい。合理化のシワよせが大月駅をみるまでもなく事故にむすびつく、危機感をもってほしい。

●本部、支部から答弁が行なわれたのち、本部長野委員長が挨拶を行なった。「ここで機関助手時代乗務をしていた、今千葉機関区となったことに感無量なものがある。いま時代は大競争時代が進み、戦争にならざるを得ない時代をむかえているが、日本は戦後50年のなかでさまざま

なな制約がある。いまの行革はその制約を破ろうとするもの。労働組合の破壊だけは進んでいく。労働組合の力を強化するために、十一・九集会をよびかけ、百万人署名運動を進めている。これから一〇四七名問題が焦点になる。この勝利のためにも十一・九五千名結集を勝ち取ろう。これが労働運動強化の道につながる」

拍手で方針・予算等を探択したのち、新役員を確認し、的場支部長より、物販にむけた訴えがあった。最後に組合合唱。

またな制約がある。いまの行革はその制約を破ろうとするもの。労働組合の破壊だけは進んでいく。労働組合の力を強化するために、十一・九集会をよびかけ、百万人署名運動を進めている。これから一〇四七名問題が焦点になる。この勝利のためにも十一・九五千名結集を勝ち取ろう。これが労働運動強化の道につながる」

拍手で方針・予算等を探択したのち、新役員を確認し、的場支部長より、物販にむけた訴えがあった。最後に組合合唱。

またな制約がある。いまの行革はその制約を破ろうとするもの。労働組合の破壊だけは進んでいく。労働組合の力を強化するために、十一・九集会をよびかけ、百万人署名運動を進めている。これから一〇四七名問題が焦点になる。この勝利のためにも十一・九五千名結集を勝ち取ろう。これが労働運動強化の道につながる」

拍手で方針・予算等を探択したのち、新役員を確認し、的場支部長より、物販にむけた訴えがあった。最後に組合合唱。

またな制約がある。いまの行革はその制約を破ろうとするもの。労働組合の破壊だけは進んでいく。労働組合の力を強化するために、十一・九集会をよびかけ、百万人署名運動を進めている。これから一〇四七名問題が焦点になる。この勝利のためにも十一・九五千名結集を勝ち取ろう。これが労働運動強化の道につながる」

拍手で方針・予算等を探択したのち、新役員を確認し、的場支部長より、物販にむけた訴えがあった。最後に組合合唱。

またな制約がある。いまの行革はその制約を破ろうとするもの。労働組合の破壊だけは進んでいく。労働組合の力を強化するために、十一・九集会をよびかけ、百万人署名運動を進めている。これから一〇四七名問題が焦点になる。この勝利のためにも十一・九五千名結集を勝ち取ろう。これが労働運動強化の道につながる」

拍手で方針・予算等を探択したのち、新役員を確認し、的場支部長より、物販にむけた訴えがあった。最後に組合合唱。

支部長	的場 正和
副支部長	石川 二郎
書記長	大竹 哲治
執行委員	根本 英治
	中台 政幸
	鎌形 哲男
	樋口 徳浩
会計監査	大岩 定雄
	高橋 一成

名護のレポート 千葉県民の集い、開かれる(10/25)



十月二十五日、千葉市教育会館において「名護ヘリポートに関する」千葉県民の集いが同実行委員会の主催により開催され、県下の労組、市民団体など一〇八名が参加した。

名護現地からヘリポートに関する名護市民の会で名護市職の宮城次夫さんを迎え、この間の現地のたまたかいの報告が行なわれた。

▲会場から多くの質問がなされた

